

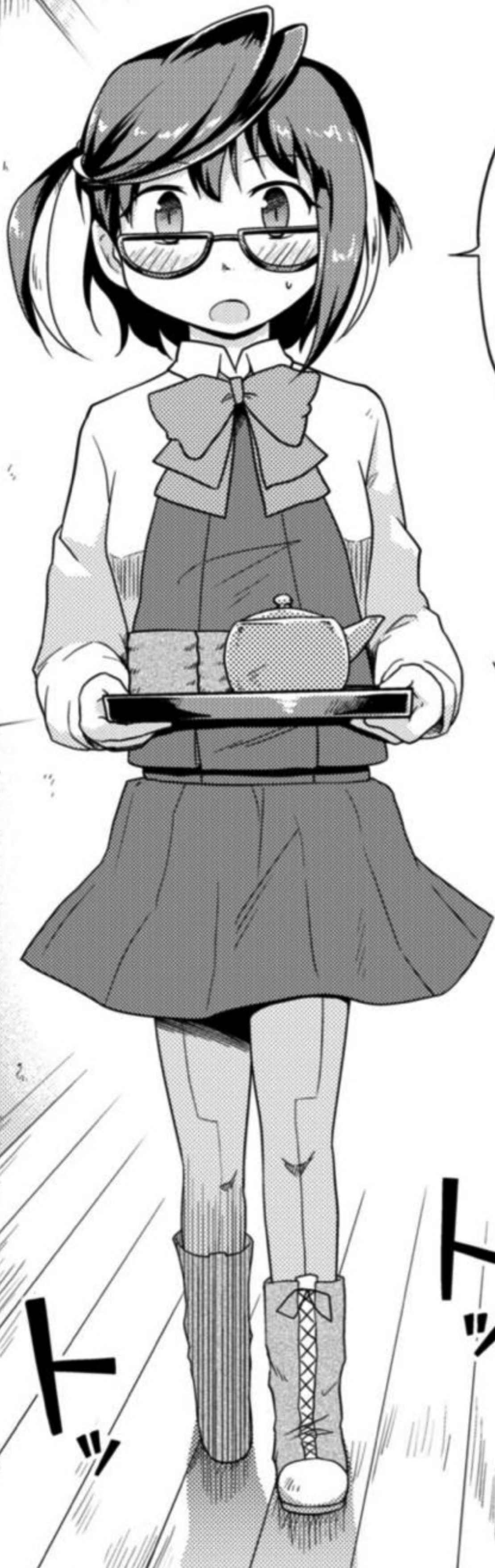


神
皮
淫
肉

ナキ
ナミ
コメ
ウキ

ツキトコオリノ
双月氷雨
フタツキ
ヒサメ

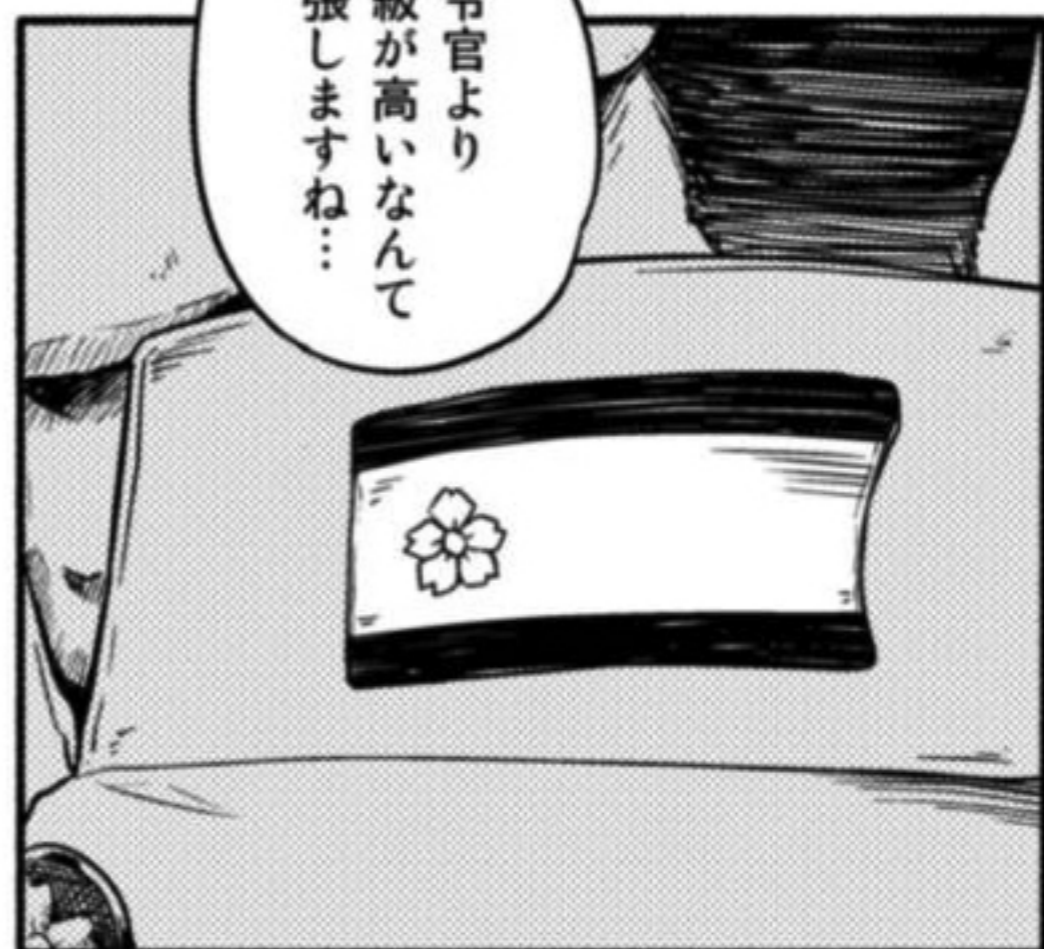
R18
Adult
Only



お茶の出し方は
いつも通りで
良いんですけどっけ…



将校様自ら
お越しになるとは
一体
何事なのでしょううか



司令官より
階級が高いなんて
緊張しますね…

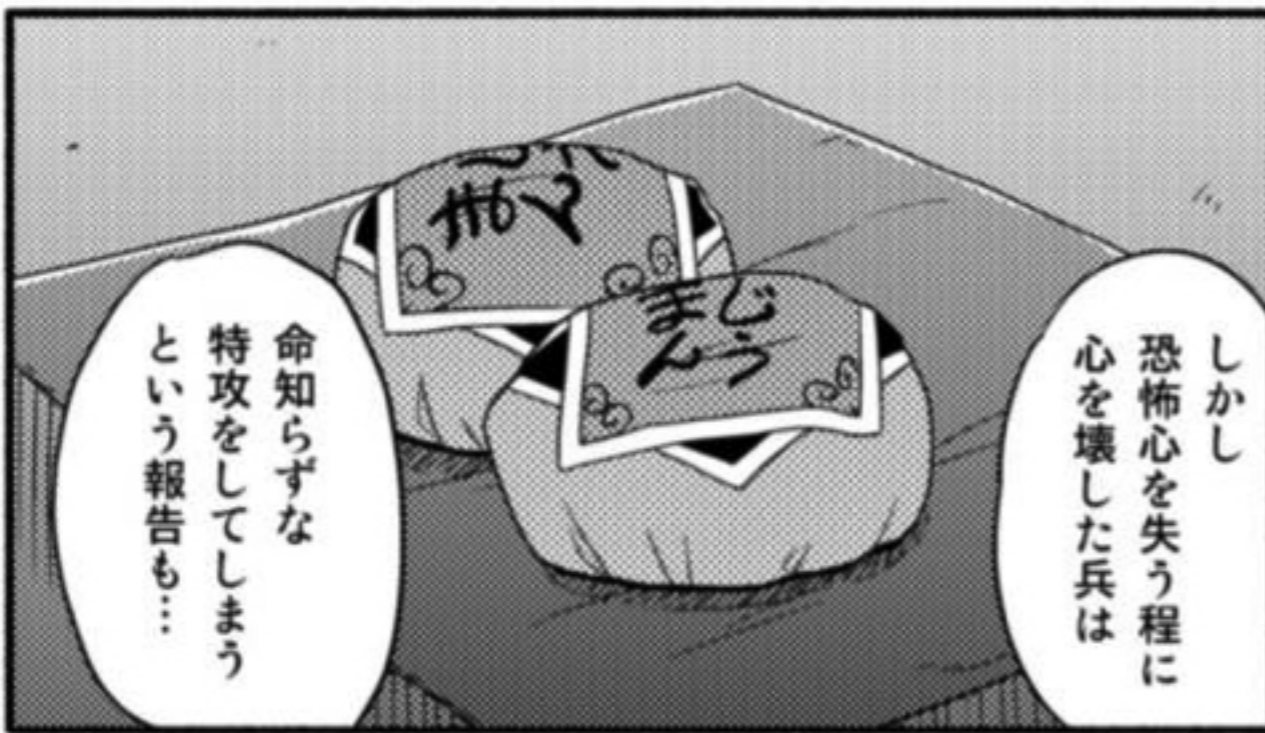


恐怖心を
無くす薬…



恐怖こそが
最大の敵だ

如何に訓練
しようとも
綻びは多い



命知らずな
特攻をしてしまう
という報告も…

しかし
恐怖心を失う程に
心を壊した兵は



確かに…
歴戦の猛者として
恐怖は感じると
聞きます



だからこそ
微調整を要すると
機関が煩いのだ
彼女達は
実験体じゃ
ありませんよ



お茶を
お持ちしました

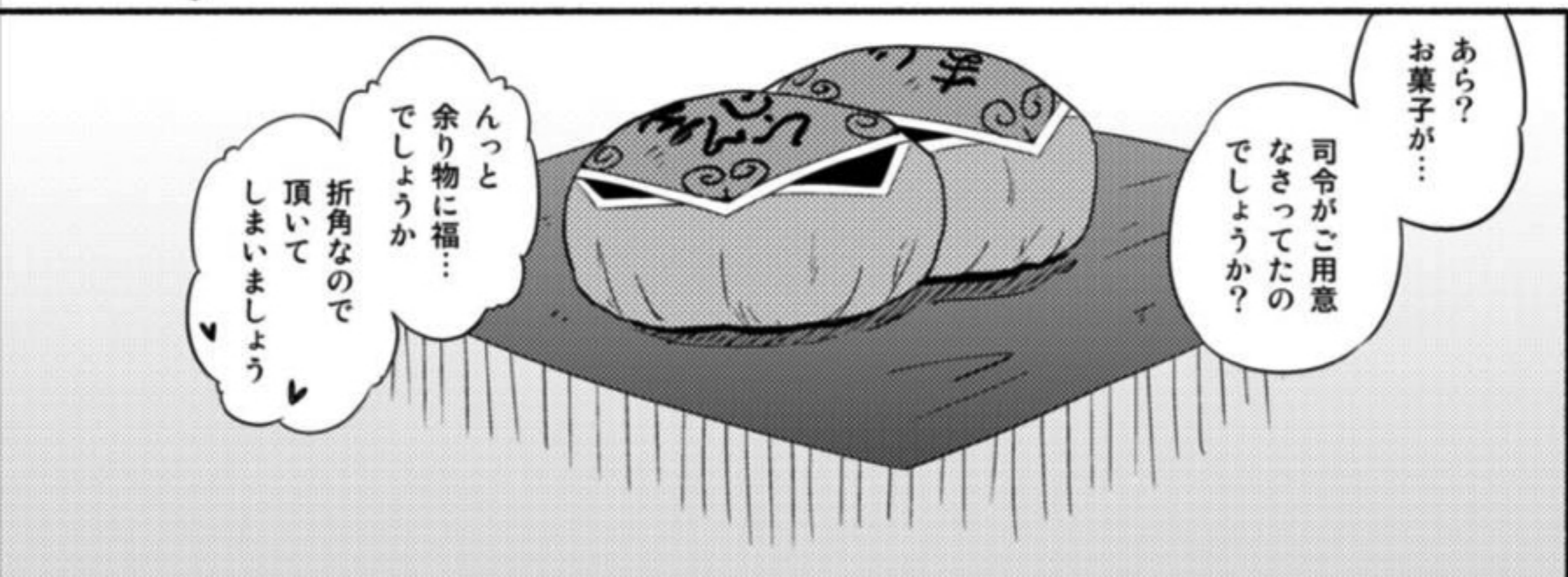
ガチャ

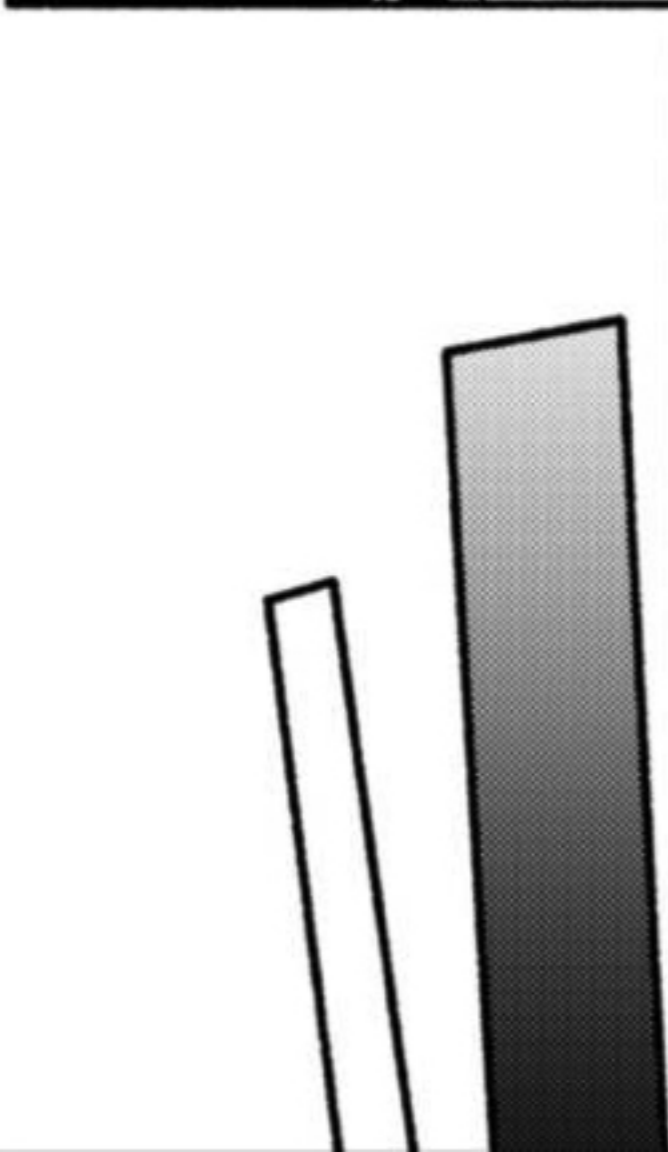
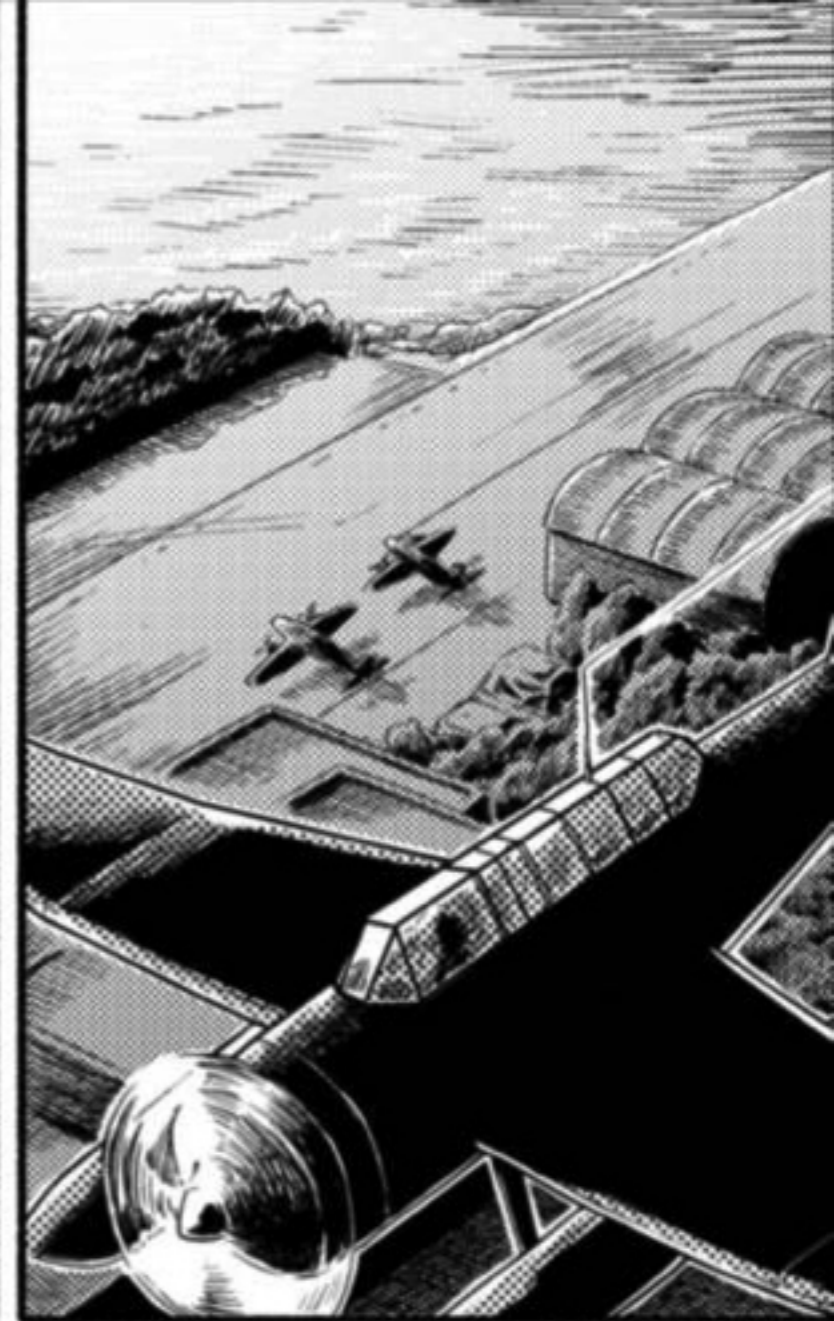


ですが
安易に使うのは
考えものかと

当然
奥の手として
一考はします











沖波は…実は
あの机にあった

和菓…
…子…っ



ずいっ

司令官っ!!



ど…
どうした?

み…

身を乗り
出してまで
何か…?

あのっ…!!

大変
申し訳ありません!!

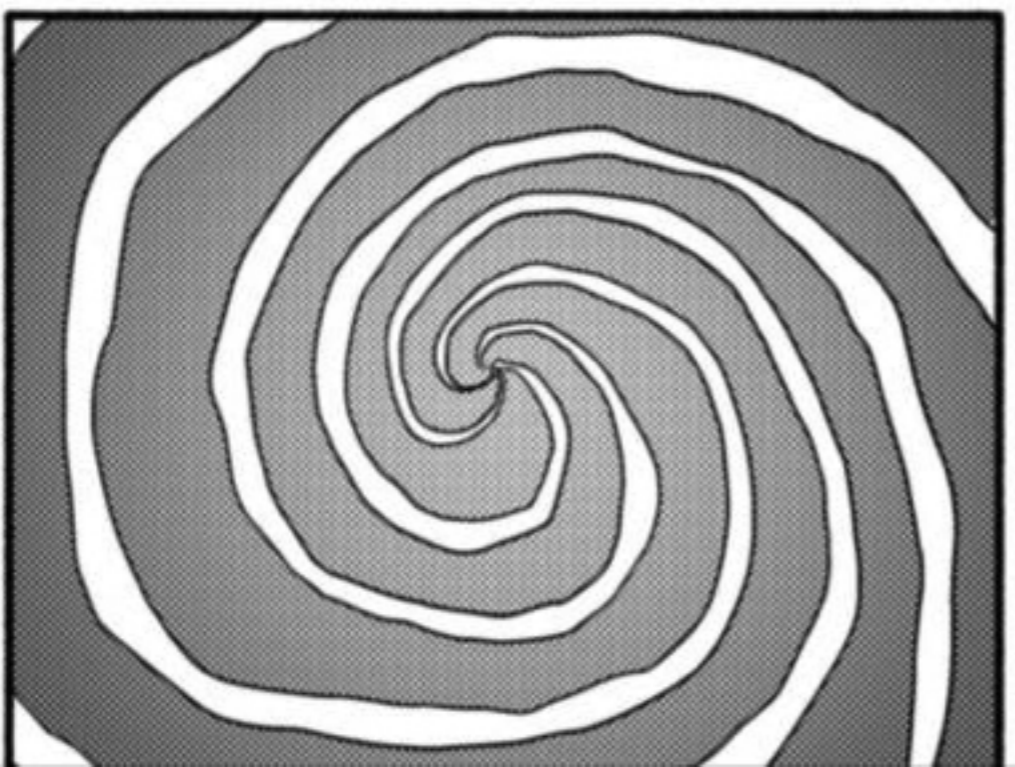


を…

あれっ…

意識が遠く…

ふ、わっ



食…あう…



沖波
もういい休め

体調が悪いなら
無理せずに…

いえ…
沖波は
大丈夫です

えっ？

それより
司令官…



あれっ…
私…今何を
してるんだっ…っ



なっ

沖波…
体が熱くて
堪^{たま}らないんです



私ずっと
司令官の事

好きだったん
ですよ…?

あ…っ
沖波 お前まさか
あの和菓子を食べたか?!

それとも
沖波じゃ…

ダメですか…?



恐怖心無くす
などは
聞いていたが

あの沖波をどうも
変えてしまうのか!?

ネエ



司令官…
沖波はいつも

待った
沖波…

想いを伝えられずに
ヤキモキしてたん
です…

正気を失って
いつもの君じゃ
ない……っ



出会った頃から
いつも優しく
気遣ってくれて

秘書艦に
選んでくれた時は
舞い上がって

夜も眠れずに
ずっとこのままで
いたらって…

これが沖波の
心に秘めた声…

いや…
まともでないのは
確かだが

これは
『知られる恐怖』を
失って出てくる
彼女の本音なのか
………?

す…すまない

司令官…♥

君の想いに
何も気付かず

そんなに
悩ませていたのか…

いやいやいや

素直にそれに
返答してる場合じゃ
なくて

やっと気づいて
くれたんですね

沖波
嬉しいです

今は
「怖くない」から
言えてしまうんだ

本音が…
純粹な気持ちか…



私も随分
情けない男だ



あんな薬に
後押し
されなければ

乙女心の一つも
分かって
やれないとは――

沖波の口から
隠語なんて

普通じゃ
絶対聞けないな

ちゅっ...

司令官が
そんなえっちな
手つきするの
初めて見ます...

大胆な沖波も
初めて見るよ...

やあん♡

沖波の
おまんこが
丸見えです♡

率直な表現...
これも恐れが
無いからか

びゅん

ふんふん

あ、あ、あ

ドキ

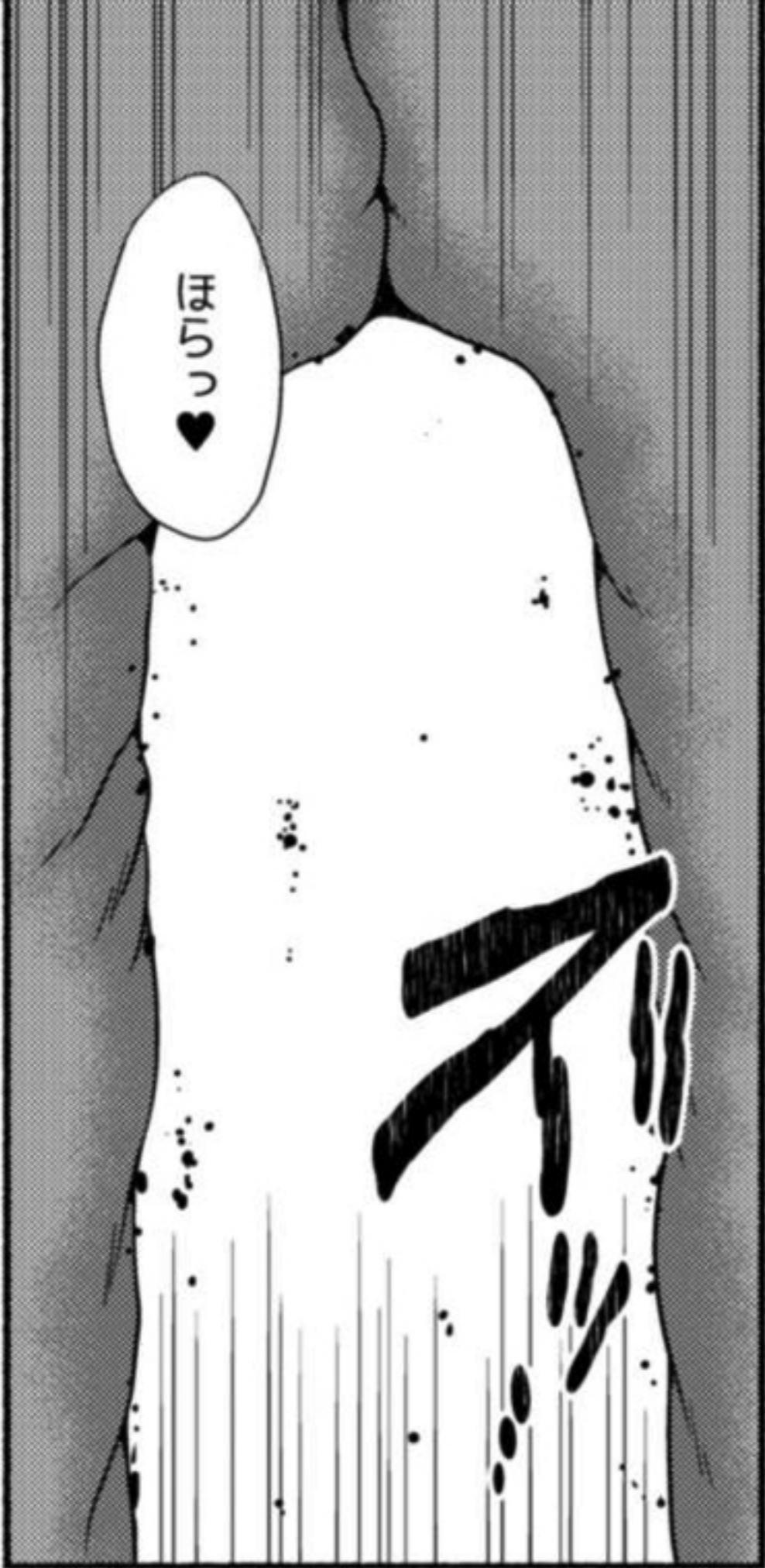
びゅん

あ、あ、あ

びゅん

あ、あ、あ







し…
司令…?

秘書が主導権
握ってどうする
つもりだ



全く
不慣れな事を
しおって

ざぼん



そうですね
それじゃあ
お任せします♥

初めてですから
どうか
お手柔らかに♥

んんん♥



じゃあ...
先ずは開通式を
終えないとな

ギキッ
あゝ
ギキッ
あゝ
ギキッ
あゝ

あゝ

司令官っ



ひゅっ
うっ...



痛いですが
痛いですから
ちよっと...



酷おい...
優しくって
言ったのに...

ズキッ
ズキッ
...入ったよ

ズキッ







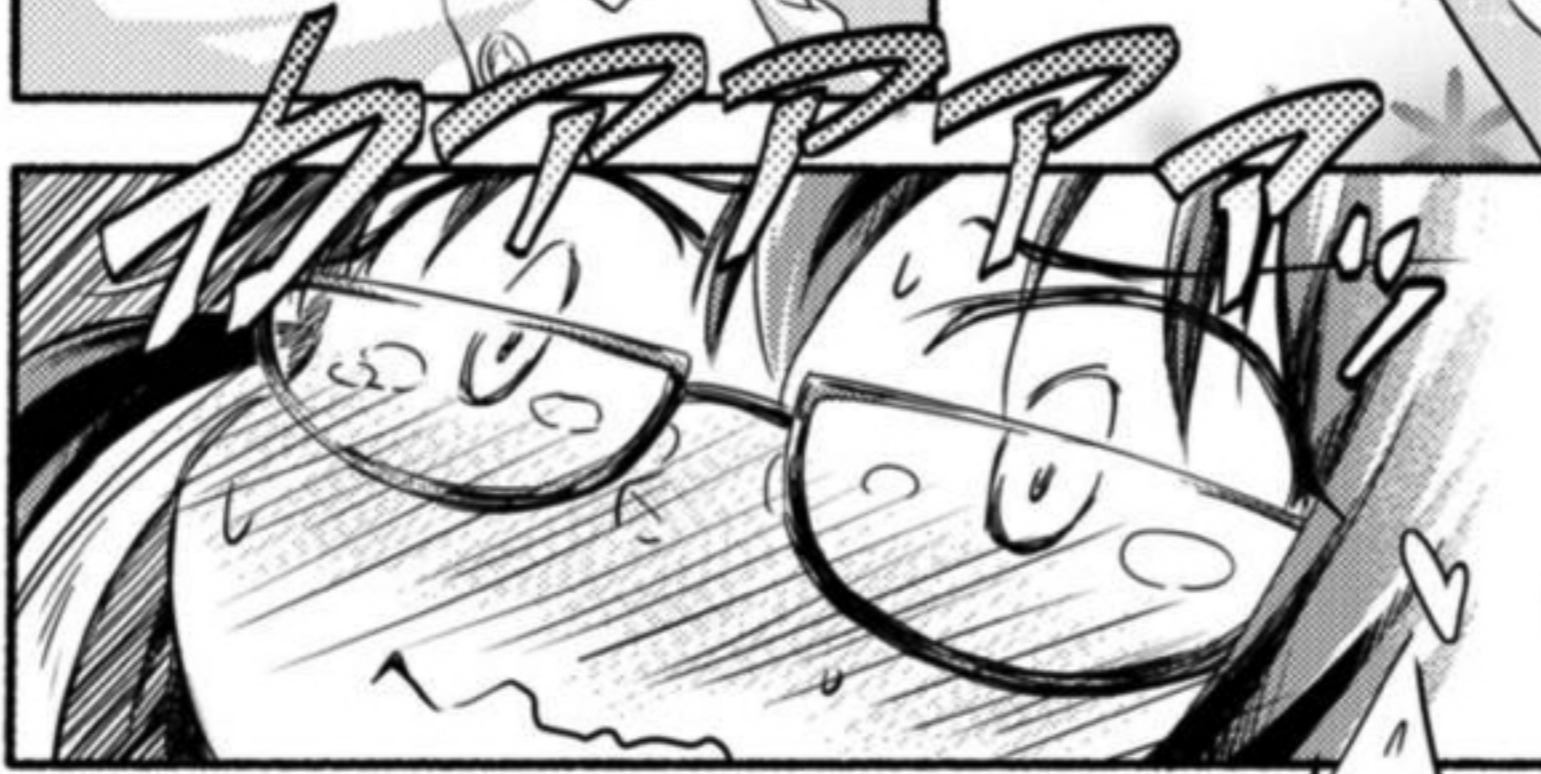
ドキッ

はい...

あの...
司令...官...

まさかこの
タイミングで

薬の効果が
切れるのか?!



カアアア



それは...

あんなの
無効ですよおっ!!

君は自ら脱いで
きただろっ!!?

待てっこれは

キャー

何て事
するんですかっ!!?

何てっ

